

日出学園小学校PTA活動

ベルマーク運動

10月11日と18日に常任幹事を中心に行われたベルマーク収集と集計作業の取材に行っ
て参りました。

ベルマーク運動は、PTAなどのボランティアで生み出された資金（ベルマーク預金）で
学校の設備や教材をそろえ、さらに国の内外でハンディを背負いながら学んでいる子ども
たちに援助の手を差し伸べる活動です。マーク集めから始まるだけでも気軽に参加できる
ボランティアです。「協賛会社」が商品に付けているマークを登録参加のPTAや公民館
などが集め、整理・計算して財団に送ると1点が1円に換算されてベルマーク預金になり
ます。その預金で、自分たちの学校に必要な設備・教材が「協力会社」から購入できます。
すると、その購入金額の10%が自動的にベルマーク財団に寄付され、さまざまな教育援
助活動に使われます。（ベルマーク教育助成財団ホームページより）

<http://www.bellmark.or.jp/>

生徒さん達が一生懸命集めたベルマークを、皆さま和やかな雰囲気で作業されていました。
グループに分かれ、点数毎に分ける作業と集計作業はとても細かく、この作業をやってく
ださってるみなさまには頭が下がる思いです。



ベルマークの他にも、テトラパック（牛乳パック）やインクカートリッジも回収します。
テトラパックの紙容器も綺麗にまとめ、インクカートリッジは山のようにたくさん集めら
れていました。



18日には11日の続きの作業をしました。たくさんのベルマークが処理されていましたが、まだまだたくさんありました。企業ごと、更に商品ごとに封筒が用意されており、きちんと分類、集計したベルマークを封入し送付します。分類作業も大変ですが、集計もかなり手間がかかります。



このベルマークボランティアは学期毎二回ずつ行われます。二学期が一番たくさん集まる
そうです。集計後は、先生たちにカタログの中から必要な物をきいて申し込みます。
昨年は運動会などに活躍したテントに替えました。およそテントは 20 万円相当であり、二
年に一張という割合で交換できるそうです。

手際よく作業分担されていて、私たちの知らない所でこのような作業も行われていたのか
と勉強になりました。

この取材を通し、ベルマーク集めにより一層協力していきたいと思いました。
ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。